

第106回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2023年6月20日（火）10:00～17:10
2. 場 所：機械学会 第1・2会議室及びWebEX システムによるハイブリッド開催
3. 出席者：委員 25 名（委員代理含む）、敬称略

【委 員】

笠原委員長(東大)、高橋副委員長(理科大)、伊阪幹事(関西電力)、鈴木(中部電力)、波木井(東電)、木村(NIMS)、堂崎(東北大)、町田、(TEPSYS)、浅山(JAEA)、大谷(MFBR)、平野(日立GE)、渋楯(IHI)、楠(日本原電)、爾見(発電技検)、中村(川崎重工)、三浦(電中研)、朝田(三菱重工)、山口(HSB ジャパン)、室伏(東芝 ESS)、高柳(電機協会)、増川(火原協)、藤田(三菱重工、火専長)、松永(東芝 ESS、原専長)、西井(電源開発、材専長)

【委員代理】

戸張(QST)：橋爪委員(東北大、核専長) 代理

【欠 席】

小山(日本製鋼所 M&E)、川畑(東大)

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

山田(中部電力)、野村(CS エンジニアリング)、高屋(JAEA)、志田(東電)、白井(電中研)、清水(日立GE)、中村いづみ(都市大)、岡島(JAEA)、北条(三菱重工)、白水(関西電力)、高田(東芝 ESS)、大竹(日立GE)、佐藤(発電技検)

【事務局】

松岡、中村、渡邊

4. 配布資料

- 106-0：第106回 発電用設備規格委員会議事次第案
- 106-1：第105回 発電用設備規格委員会議事録案
- 106-2：発電用設備規格委員会名簿案
- 106-3-1：JSME 規格注力アイテムに関する電事連との協議の状況について
- 106-3-2-1：事務局業務の改善に関する取り組みの状況（リスト）
- 106-3-2-2：分科会・作業会委員の委嘱期間終了月の統一の試行状況
- 106-3-3-1：目標信頼性検討タスク_原学会との連携について
- 106-3-3-2：目標信頼性_公衆審査意見への対応
- 106-4：第95回規格委幹事会議事録案
- 106-5：投票結果
- 106-6-1：質問受付対
- 106-6-2：公衆審査結果
- 106-7：火力専門委員会報告
- 106-8：原子力専門委員会報告
- 106-9：材料専門委員会報告
- 106-10：核融合専門委員会報告
- 106-11-1：第70回原子力関連学協会規格類協議会 議事録（案）
- 106-11-3-1：金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答提示（改定版）

106-11-3-2_金属キャスク事例規格廃止に伴う再発防止対策見直し箇所の前後比較
106-11-4-1 : ASME Code Week (2023 年 5 月) 概要報告
106-11-4-2-1 : ASME SSDC Roadmap_Rev E
106-11-4-2-2 : SDSC Roadmap に対するご意見一覧
106-11-4-2-3 : JSME-JEA Comments to SDSC Roadmap
106-11-4-3 : ICONE30 Nuclear CS Workshop 概要報告
106-11-X : 誤記関連内規改定案
106-11-Y-1 : 推奨表記集改定提案表紙
106-11-Y-2 : 【投票対象】(その 1) 「I. 専門用語」改定案(新旧対照表)
106-11-Y-3 : 【投票対象】(その 2) 「II. 一般用語」改定案(新旧対照表)
(106-12 : 欠番)
106-13-0 : #106 規格委_設計・建設分科会 審議案件
106-13-1 : DC22-22_解説での式の誤記_修正提案_R4_規委
106-13-2 : DC23-13 溶接規格 2024(その 2) 影響評価
106-14-0 : 規格委員会_溶接分科会審議案件
106-14-1 : 溶接規格 引用規格 JIS Z 3090 の適用年版の改定 書面投票結果
106-14-2 : 溶接規格 2020 年版 正誤表 承認済みの修正 メール審議経過報告
106-14-3 : 「超音波探傷試験」への対比試験片の追加_書面投票
106-14-4 : 溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加改定_書面投票
106-14-5 : 溶接規格 2020 年版 正誤表 (その 2 ・記載不整合等の対応) 書面投票提案
106-14-6 : 溶接規格 2020 年版 正誤表 (その 3 ・「溶接技能者」用語改定反映漏れ) 書面投票提案
106-15-0 : 維持規格 資料リスト
106-15-1 : 補修章の正誤表 (WOL 工法における評価規定の引用先の修正)
106-15-2 : 補修章の承認済みの正誤表の訂正
106-15-3 : 極限荷重評価法への有限要素解析の適用
106-15-4 : 評価章の正誤表 (添付 EJB-B-4-5 他)
(106-16 : 欠番)
106-17 : 高温規格分科会審議案件リスト
106-17-1 : 規格委書面投票 No. 591 の意見対応 (ETD22-011)
106-17-2 : (ETD13-002) 規格委員会書面投票 No.601 意見回答
106-17-3 : ETD22-012_解説 FSSB-3000 の簡素化
106-17-4 : ETD22-014_用語「条」「項」「号」の使用方法的適正化
106-17-5 : ETD23-003_設計・建設規格<第Ⅱ編高速炉規格> 2022 年版正誤表の発行 (その 1)
(106-18 : 欠番)
(106-19 : 欠番)
106-20 : 2023_0620 規格委員会 NC-CC-008 正誤表修正 審議依頼
添付 1-1 事例規格「弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定」
(JSME NC-CC-008) 正誤表
添付 1-2 NC-CC-008 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定
(訂正箇所抜粋)
添付 2-1 事例規格 公衆審査版からの修正箇所一覧_r7 (2306 図番引用修正関係対応)
添付 2-2 01_事例規格本体_公衆審査後 軽微な修正書面投票用 (2023_06 図番引用修正関係)
106-21-1 : 環境疲労評価手法 審議経緯と今後の進め方
106-21-2-1 : 環境疲労評価手法 2022_発行原稿チェック結果 修正提案
106-21-2-2 : 別紙_公衆審査版の記載の追加訂正
106-21-2-3-1 : 環境疲労評価手法(2022 年版)英訳版_抜粋
106-21-2-3-2 : 環境疲労評価手法 2022 年版_添付 EF-A 抜粋
(106-22 : 欠番)

(106-23：欠番)
(106-24：欠番)
106-25-1：竜巻分科会審議案件
106-25-2-1：原専委メール審議No. 124 投票結果
106-25-2-2：竜巻ガイドライン改定（案）の新旧対照表
106-25-2-3：公衆審査版
106-25-2-3：公衆審査用原稿
106-26-1：アルミバスケット事例規格案_原専メール審議No. 126-規格委メール審議No. 77 結果報告
106-26-2-1：アルミバスケット材料事例規格案_公衆審査版からの変更_20230324-1_見え消し版
106-26-2-2：アルミバスケット材料事例規格案_公衆審査版からの変更_20230324-1_クリーンアップ版
106-26-3-1：事例規格 添付-1（解説）_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230324-1

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の2/3以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 106-1】

事務局より、事前配布版からの追加事項等が説明された。挙手による採決の結果、議事録として承認された。

(2) 委員人事

(2-1, 2) 規格委員会及び専門委員会委員人事【106-2】

規格委員会及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。なお、規格委員会の人事については、次回理事会の承認を以て確定される。

また、核融合専門委員会及び材料専門委員会の委員長について、委員長としての任期が終了した状態であること、運営規約に従い次期委員長が選任されるまで現委員長が継続してその任に当たることが報告された。これに関連し、選任される次期委員長の任期について、委員長が交代する場合は新規に2年間、現委員長が再選された場合は本来の現任期完了時点に遡って2年間とすることが合意された。

- 規格委委員会
 - [再任] 笠原委員長（東大）、木村委員（NIMS）、浅山委員（JAEA）、大谷委員（MFBR）
 - [退任] ー
 - [新任] ー
- 火力専門委員会
 - [再任] 松田委員（HSB ジャパン）
 - [新任] ー
 - [退任] ー
- 原子力専門委員会
 - [再任] 高屋幹事（JAEA）
 - [新任] 町田委員（原電）
 - [退任] 三好委員（原電）
- 材料専門委員会
 - [再任] 西井委員長（電源開発）、岡田（日鉄テクノロジー）、稲垣委員（東芝 ESS）、
 - [新任] 三木委員（日本製鋼 M&E）
 - [退任] 高澤委員（日本製鋼 M&E）
- 核融合専門委員会
 - [再任] 橋爪委員長（東北大）、中平委員長（QST）、稲垣委員（東芝 ESS）、山田委員（金属技研）
 - [新任] ー
 - [退任] ー

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) 規格注力アイテムに関する電事連との協議の状況について【資料 106-3-1】（説明者：松永原専長）

松永原専長より、規格の中長期的な技術的課題への取り組みとして進めている電事連との協議の状況について報告が行われた。内容は以下のとおり。

- 維持規格分科会、設計・建設分科会より個別に複数の研究課題を提示し、電力共同研究としての具体化を進めている。

(3-2) 事務局業務の改善に関する取り組み：【資料 106-3-2】（説明者：原子力専門委員会 高屋幹事、事務局）

事務局より、原子力専門委員会の協力のもと進められている事務局業務効率化への取り組みの状況について概要が説明された。内容は以下のとおり。

- 昨年度より書面投票の実施、規格委員会及び原子力専門委員会の議事録作成などの業務を原専分科会と分担し、作業量の軽減ならびに円滑な運営に成果をあげている。
- 本年度に入り委員の再任に関する事務を効率化する方法として、ばらばらだった再任時期を統一する案について、一部の分科会で先行して試行を行った。
- システム構築から 10 年以上を経過した、委員専用ホームページ、投票システム等の更新について原子力専門委員会と意見交換を開始している。

引き続き、委員再任時期の統一を原子力専門委員会にて試行した結果について、原専 高屋幹事より報告が行われた。内容は以下のとおり。

- 設計・建設、材料、高温規格の 3 分科会を対象に実施。
- 来年 6 月までに任期を迎える分科会委員を対象に、本人の意思を確認するメールを 4 月末の時点で一斉配信した。その際、従来、添付として送付していた回答用紙を廃止し、直接返信メールに盛り込む工夫を行った。
- その後、分科会での審議を経て、6 月の原子力専門委員会で対象分科会の委員再任を承認した。

(3-3) 目標信頼性評価検討ガイドライン 公衆審査意見への対応方針について：【資料 106-3-3】

(説明者：目標信頼性検討タスク 岡島主査)

新たに制定される「静的機器に対する目標信頼性設定と適合性評価のためのガイドライン」に対する公衆審査結果報告及び対応方針について説明され、審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 事前に幹事会よりタスクに対して、日本原子力学会 標準委員会との連携を視野に入れた対応についての検討が依頼されていた。タスクにおける検討の結果、今回の初版の公衆審査意見への対応については、今後あるべき学会間連携の検討とは切り離して実施する方針が示され、了解された。
- 公衆審査 (4/7～6/9) において3名からご意見を頂いた。それぞれの意見の概要のみ、口頭で報告が行われた。また1名の意見者と個別に打合せを実施し、ご意見の趣旨を確認し回答の方向性を説明したこと、及び他の意見者に対しても必要に応じて同様の打合せを持つことを考えていることが説明された。頂いたご意見への回答については、9月の原子力専門委員会及び規格委員会において審議を依頼するという方針が示され、了解された。

主な議論は以下のとおり。

- 「リスク評価手法で目標信頼性を設定できるとは考えられない」というコメントがあるが、これに対する回答は用意できるのか (高橋副委員長)
 - 「目標信頼性を一意に定めることは出来ない」という点をご指摘いただいた通り。その一方で、複数の候補の中から、評価者が評価の目的に合うように目標信頼性を選択し設定することは可能と考えられる。この内容については打合せの場で説明し、ご理解を頂いている。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：審議なし【資料 106-12 欠番】

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

原子力専門委員会松永委員長から概要を説明後、各分科会代表から個別に議案の説明及び審議が行われた。各規格の審議結果は以下のとおり。

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 106-13】

(説明者：設計・建設分科会 朝田主査)

設計・建設規格<第Ⅰ編 軽水炉規格>に関する審議が行われた。内容は以下のとおり。

- 正誤表修正の審議：発行済の正誤表、修正提案が説明された。挙手による採決の結果、実施中の原子力専門委員会メール審議No. 34の可決を条件に規格委員会でのメール審議を行うことが承認された。(資料：116-13-1)「溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加
- 溶接規格 2024 年版改定案に対する設計建設規格への影響評価(報告)：原子力専門委員会で書面投票の対称となった以下の3項目について設計・建設規格への影響を評価した結果、影響がないことを確認した旨、報告された。(資料 116-13-2)
 - ①W22-06：溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加
 - ②W22-08：溶接技能者に関する用語の改定
 - ③W22 13：引用規格の略称表記の統一

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 106-14】

(説明者：溶接分科会 藤田幹事)

- 溶接規格 2024 年版改定案の審議：内容は以下のとおり。
 - ①W22-02「JIZ3090 適用年版改定の反映」：書面投票 Nn. 597 の結果が報告された。投票数の 2/3 以上の賛成票があること、反対、保留を含む意見はないことを確認し、可決が承認された。(資料 106-

14-1)

②W21-09「超音波探傷試験 比較試験片の追加」：規格委員会書面投票を行うことが承認された。
(資料 106-14-3)

③W22-06「溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加」：規格委員会書面投票を行うことが承認された。
(資料 106-16-4)

➤ 溶接規格 正誤表に関する審議：内容は以下のとおり。

①W23-02「承認済 2020 年版正誤表の修正提案」：メール審議 No. 80 の途中経過について報告された。
(資料 106-14-2)

②W23-10「2020 年版正誤表 記載不整合への対応」の発行：規格委員会書面投票の実施が承認された。
(資料 106-14-5)

③W23-13「2020 年版正誤表 溶接技能者改定 反映もれ」の発行：規格委員会書面投票の実施が承認された。
(資料 106-14-6)

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 106-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査、評価作業会 北条主査)

➤ 正誤表発行の審議：

① 補修章の正誤表 (WOL 工法における評価規定の引用先の修正)：資料 106-15-1

書面投票を行った結果、全員賛成で可決されたことが確認された。提案資料中のページ表示に誤記があり、修正することで最終承認された。

② 補修章の承認済み正誤表の訂正：資料 106-15-2

書面投票を行った結果、参考意見 1 件があり、回答案の説明があった。回答案は了承され、提案は最終承認された。

③ 評価章の正誤表 (添付 EJG-B-4-5, 事例規格 CC-014 の修正)：資料 106-15-4

新規の正誤表として提案説明が行われ、原子力専門委員会での書面投票可決を条件に、2 週間の書面投票を行うことが承認された。

➤ 規格委員会書面投票意見対応案：以下について意見対応案及び意見者との意見交換の状況が報告され、継続審議することとされた。

・極限荷重評価法への有限要素解析の適用：資料 106-15-3

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：審議なし【資料 106-16 欠番】

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 106-17】

(説明者：高温規格分科会 高屋主査)

➤ 高速炉規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：

①ETD22-011「JIS G0567/JISK6520 適用年版の更新」：規格委員会書面投票 No. 591 子投票 1 での意見対応案が承認された。(資料 106-17-1)

②ETD-13-022「材料強度基準等に規定する材料と JIS 材料の関係明記」：規格委員会書面投票 No. 601 での意見対応案について、原専メール審議の可決を条件に規格委員会でのメール審議を行うことが承認された。(資料 106-17-2)

➤ 高速炉規格 2024 年版改定案 新規提案の審議：以下の 2 項目について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。

①ETD-22-012：解説 FRB-3000 の簡素化 (資料 106-17-3)

②ETD-22-024：用語「条」「項」「号」使用方法の適正化(資料 106-17-4)

➤ 高速炉規格 2022 年版正誤表発行提案の審議：以下の正誤表発行提案について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。

・ETD-23-033「2022 年版正誤表の発行その 1」(資料 106-17-5)

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議【資料 106-18】

(説明者：白井主査)

- 金属キャスク構造規格改定案 事例規格集の審議：2007 年版以来の改定となる本体規格の改定版主案と合わせて発行される事例規格集の提案説明が行われた。アルミ合金タスクが策定し、公衆審査を終了したアルミ合金事例規格を取り込むと共に、廃止された事例規格を含む事例規格のリストが提供される。挙手による裁採決の結果、原子力専門委員会での審議の可決・終了を条件に規格委員会の書面投票を行うことが承認された。

(4-2-7) 配管減肉管理規格：審議なし【資料 106-19 欠番】

(4-2-8) 配管耐震評価に関する事例規格に関する審議：【資料 106-20】

(説明者：中村いづみタスク主査)

- 公衆審査版からの変更提案について説明が行われた。挙手による採決の結果、規格委員会委書面投票を行うことが承認された。

(4-2-9) 環境疲労評価に関する規格の審議【資料 106-21】

(説明者：疲労評価分科会 高橋主査)

- 出版版の軽微な修正に関する提案：出版用原稿の最終チェックにおいて見つかった誤記について修正提案が説明された。挙手による採決の結果、審議中の原子力専門委員会での可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。

(4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格：審議なし【資料 106-22 欠番】

(4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン：審議なし【資料 106-23 欠番】

(4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：議案(3-3)にて別途審議【資料 106-24 欠番】

(4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議：【資料 106-25】

(説明者：竜巻影響評価分科会 白井主査)

- 竜巻影響評価ガイドライン改定案の審議：本改定案は、2022/8 に修了した規格委員会書面投票で可決されたが、意見対応に伴う編集上の修正について対応を継続してきた経緯が報告された。原子力専門委員会でのメール審議が可決されたことを受け、編集上の驟雨性に関する規格委員会でのメール審議を行うことが承認された。
- また、編集上の修正に関するメール審議の可決を条件に公衆審査に入ることが承認された。

(4-2-14) 使用済燃料貯蔵施設規格 アルミ合金事例規格に関する審議：【資料 106-26】

(説明者：金属キャスク用アルミバスケット材料検討タスク（フェーズ2）波木井主査、永田タスク員）

「金属キャスクバスケット材料用アルミニウム合金事例規格案」公衆審査版からの変更提案に関する原専及び規格委メール審議結果に関して以下の報告があった。

- 原専メール審議 No. 126 は参考意見が 1 件あったが賛成多数で可決した。意見対応で変更点リスト及び事例規格案を一部修正したが原専三役に修正は軽微であり提案を承認することを判断いただいた。
- 規格委メール審議 No. 77 も参考意見が意見あったが賛成多数で可決し、意見対応の結果提案は追加の修正無しで承認された。
- これにより公衆審査版からの変更提案は意見対応に伴う修正を含め承認された。

報告自体には質問等は無かったが、タスクの今後について質問があった。

それに対して波木井主査から一部の B 電力からは非公式に JSME でアルミバスケット材料の許容値を決めてもらいたいという話を聞いており、協議を進めたいとの回答があった。

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 106-4】

伊阪幹事より 5/9 に開催された第 95 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 106-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 質問受付回答状況【資料 106-6-1】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料により報告された。

(5-4) 公衆審査報告【資料 106-6-2】

事務局より、前回規格委員会以降実施された公衆審査は、目標信頼性評価ガイドラインのみである旨報告され、内容は既に議案(3-3)として意見対応方針が報告済みとして説明は省略された。

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 106-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/2 に WEB 開催された第 104 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第 105 回火力専門委員会は 9/1 に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 106-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/7 に WEB 形式で開催された第 114 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 115 回原子力専門委員会は 9/7-8 に対面・WEB ハイブリッド形式で開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 106-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/6 に WEB 形式で開催された第 57 回材料専門委員会での審議を中心に活動状況が報告された。
- 次回 第 58 回材料専門委員会は 6/6 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 106-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/9-6/19 にメール審議にて前回専門委員会議事録案及び委員人事案件を承認したことが報告された。
- 次回 第 82 回核融合専門委員会は 9 月中旬に WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 106-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 3/20 に開催された第 70 回協議会の議事録が紹介された。
- 機会学会より、設計・建設規格 2020 年版等を対象とした規制庁技術評価に関する検討チームの公開会合の状況を報告した。

(6-2) ASME Code 委員会に関する報告【資料 106-11-4】

原子力専門委員会 松永委員長より、5/2～5/18 を中心に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関与が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- ・ SDO Code Convergence Board (5/15 開催) : 添付－1
- ・ ASME/JSME Joint TG Severe Accident (5/16 開催) : 添付-2
- ・ ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (5/11 開催) : 添付－3
- ・ Plant Systems Design Committee (5/14, 15 開催) : 添付－4

(6-3) 誤記関連内規改定提案【資料 106-11-5】

原子力専門委員会 高屋幹事より、規格内の規定・条項等を指す番号を「規定番号」に統一する方針が第 102 回規格委員会で承認されたことを受け、誤記関連内規の用語を見直す提案が説明された。挙手による採決の結果、その場で提案が承認された。

(6-4) 推奨表記集の改定【資料 106-11-6】

原子力専門委員会 高屋幹事より、原子力専門委員会で制定している「推奨表記集」の改定案が説明された。挙手による採決の結果、原子力専門委員会での可決を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。

(6-5) 発電規格 2020 年版の出版状況に関する報告【資料 106-11-7】

事務局より、規格の出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 以下の 7 規格の 2024 年版を対象に、7/3 に開催される出版センター会議にて価格設定及び冊子の出版部数が確定する予定。

(7) 今後の予定

次回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 107 回 発電用設備規格委員会 : 2023 年 9 月 20 日 (火) 10 : 00～17 : 00 (WEB 開催)

以 上